

この「しあわせ福祉」は赤い羽根共同募金の配分金により発行されています。

★池田町への想いとRIAL★ 支え合い★助け合いフォーラム まるっといけだ vol.10を開催しました

日常の中に溶け込んだお互いを気に掛け合う、助け合う繋がりを「お宝」と称しています。

7月4日のフォーラムでは、お宝の紹介をしていただき、繋がり合う価値を再確認しました。



全国
コミュニティ
イサポートセンター
の橋本先生、宇城先生
によるミニセミナー
とトークセッション



「池田町への想いと希望」

養老鉄道応援団発起人
高橋さんによる活動紹介



「守っていききたいつながり」

本町友の会 小寺さん、石田さん
による活動紹介

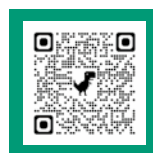
★学んだこと★

- 私たちは身近な地域での「つながり」が大切だと認識していても、知らず識らずのうちに「つながり」が希薄になる暮らし方を選択しているのかもしれない人口減少による人手不足により、やむを得ないことであるが、しかし
- お互いのできることを少しずつ、楽しみながらおこなうことはつながり続ける秘訣
 - つながることで、気に掛け合う、支え合う関係が生まれる
このような関係が「互助」
 - 「互助」は気の置けない関係の中でおこなわれる
地域の人はこれを「ご近所（お友だち）づきあい」と呼ぶ

社会福祉法人 池田町社会福祉協議会
〒503-2417 岐阜県揖斐郡池田町本郷1628-2
池田町福祉センター内
☎45・8123 ☎45・9604
E-メール: shakyo@ikedanet.jp
ホームページ: <http://www.gifu-ikeda-syakyo.jp>

公式
情報ツール

社協
ホームページ



社協
Instagram



今年も共同募金運動にご協力をお願いします

実施期間 10月1日～12月31日

目標額 ◎赤い羽根募金

3,354,000 円

◎歳末たすけあい募金

2,557,000 円

今年も10月1日から12月31日まで、全国一斉に共同募金運動が実施されます。(歳末たすけあい募金の実施期間は12月1日から12月31日まで)

募金の方法

戸別募金……区長会を通じて各世帯にお願いする募金

法人募金……各事業所を対象にお願いする募金

学校・職域募金……児童会・生徒会を中心に行う学校・職場内で行う募金

役場などにも募金箱を設置し、広く募金を呼びかけます。期間中、皆さまの温かいご協力をお願いします。

愛ちゃんと 希望くん



©中央共同募金会

共同募金の使い道（令和7年度）

池田町社会福祉協議会への配分

○バースデイサービス事業

…………… 185,732円

ご自宅で88歳の誕生日を迎えられた方々にボランティアさんが鉢花を届ける。



○子どもの遊び場補修事業…………… 91,739円

児童公園などの整備

・備品購入、除草、遊具の点検、設置、修繕
段、青柳、田中、山洞、六之井、杉野

○社協いけだ「しあわせ福祉」発行事業

…………… 635,795円

池田町の広報の奇数月に折り込み、福祉事業の取り組み、地域活動の紹介。

○災害対策推進事業

…………… 1,060,615円

災害ボランティアセンター
資材整備や開設訓練。



○ホームページ更新事業

…………… 118,800円

ホームページにて福祉などの情報を発信。

○福祉協力校助成事業…………… 530,000円

町内の5小学校、1中学校、1高校、1保育園を指定し、施設訪問やボランティア活動を行う。また、体験などを通し社会福祉への理解・関心を高める。

○障がい者支援事業…………… 100,000円

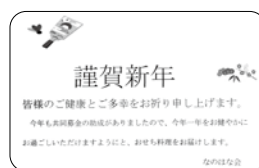
互いの意見交換などの交流と社会参加の推進。

○食事サービス

新春おめでとうセットなど

…………… 84,800円

ボランティアさんによる
手作り弁当の新年1回目を
新春おめでとうセットと
して特別メニューにする。



○食事サービス消耗品購入…………… 231,857円

弁当パック、マスク、手袋など安心・安全の中で事業を推進する。

○福祉運動会…………… 160,105円

池田町総合体育館にて開催しました。

○健康・福祉・エコフェアいけだ…………… 598,757円

池田町中央公民館一帯で開催しました。



**災害義援金
受付中**

- ▷令和6年 能登半島地震 石川県、富山県、新潟県・能登豪雨災害義援金
- ▷令和8年 熊本地震
- ▷令和8年 7月 滋賀県甲賀市の土砂崩れ災害義援金
- ▷令和8年 8月 千葉県豪雨災害義援金

『ボランティア交流会』を開催しました

6月30日(火)福祉センターにて池田町ボランティア連絡協議会主催の『ボランティア交流会』が開催されました。

今年度は大阪よりあそびの工房もくもく屋 事務局長 田川雅規氏をお迎えし「心を耕す笑顔の種まき大作戦～スキをステキに換える活動～」と題して講演会が行われました。周りの方とのお話しを交えて楽しく学ぶ参加型の講演会で、参加者にも笑顔があふれていました。

普段各々の団体でボランティア活動をされている皆さまにとって他団体の方々と交流ができ、またボランティアとは？を改めて考える良い時間になりました。



福祉出前講座を開催しました

池田町社会福祉協議会では町内小中学校を対象に福祉学習を行う「福祉出前講座」を開催しています。6月に池田小学校から「地域福祉活動について」、7月に温知小学校から「高齢者疑似体験」、八幡小学校から「認知症講座」「高齢者疑似体験」の依頼があり、ボランティアさんなどと一緒に出前講座を行いました。

道具を装着して行う「高齢者疑似体験」では高齢者になりきって階段を上り下りしたり、「認知症講座」ではパワーポイントを使った学習の後、ロールプレイで実際にどう声掛けするかを体験学習しました。地域の方々との交流の場や施設訪問時など、様々な場面で役立てていただけたらと思います。



令和8年度池田町戦没者追悼式

令和8年6月15日(月)池田町戦没者追悼式を挙行了しました。

池田町の戦没者は589名、ご遺族は230名程です。

今年は戦後81年、戦争を体験したことのない世代が9割を占めるようになりました。



「絵手紙」大募集!!

「絵手紙」
募集します!

感じていることを「ありのままに」「心のままに」描いてみませんか?
ふだんの暮らしで感じることを自由に!!

概要

〈絵手紙〉イラストと言葉

(季節の植物、食べ物、人物など自由。)

描きたいもの何でもOK!

お子さんからどなたでもご応募ください!

〈形態〉 はがきまたはA4サイズまでの用紙。(形態は問いません)

***用紙裏面に氏名もしくはペンネームをご記入ください**

クレヨン・色鉛筆・カラーペンなど描きやすいものでOKです♪

〈応募方法〉 池田町福祉センター(池田町社会福祉協議会)まで郵送または直接お持ちください。

11月開催の「健康・福祉・エコフェアいけだ」で展示後、2週間程度「池田町役場1階ロビー」にて展示します。

《健康・福祉・エコフェアいけだ》

〈日時〉 令和8年11月15日(日)

〈場所〉 池田町中央公民館

9時~12時30分(予定)

*詳細は後日お知らせします。



《応募先・お問い合わせ》

池田町社会福祉協議会(池田町福祉センター)

〒503-2417 池田町本郷1628-2

☎45・8123

(開館時間:午前8時30分~午後5時15分)

*土日祝除く



健康づくり講演会

池田シニアクラブが健康づくり講演会に参加しました。今日からはじめるフレイル予防の習慣と題し、ストレッチやリズムに合わせた体操など、日常に取り込みやすい動作を体験しました。

また、急増している特殊詐欺を防止することを伝える劇を鑑賞し、さらなる注意を学ぶものとなりました。

フレイル予防体操

池田シニアクラブ



軽スポーツ大会

青空の下開催された軽スポーツ大会。競技はグラウンドゴルフとモルックです。グラウンドゴルフにおいては上位チームが揖斐郡の軽スポーツ大会への出場権が得られます。



モルック



グラウンドゴルフ

池田町シルバー人材センター 庭木の剪定講習会受講者募集

池田町シルバー人材センターでは、高齢者の生きがいづくりと技術習得を目指した技能講習会を開催します。おおむね60歳以上で健康で働く意欲のある方なら、どなたでも参加していただけます。受講料は無料です。ぜひご参加ください。

講習日：11月26日(木) 時間：午前9時～正午(小雨決行)
場所：池田公園(池田町粕ヶ原231番地 粕川黒田橋南西)
※変更の場合、連絡します。

定員：20人

お申し込み締切日：令和8年11月20日(金)
(定員になり次第締め切らせて頂きます。)

お申し込み方法：同センターへ本人が直接お申し込みください。
(電話申し込み可) 氏名、生年月日、住所、電話番号をお伝えください。

備考：剪定ばさみ、手袋などをご持参ください。



申し込み・問い合わせ 池田町シルバー人材センター
池田町本郷1628-2(福祉センター内)

電話 ☎45・7629
または、☎45・8123

♡結婚相談♡～素敵な出会いを応援します～

池田町社会福祉協議会では、人生をともに歩むパートナーとの新たな出会いをサポートする結婚相談所を開設しています。また、岐阜県が行う「ぎふ広域結婚相談事業支援ネットワーク」にも参画しており、登録いただくと広域でのマッチングが可能となります。

専任の相談員が丁寧に相談に応じます。結婚願望はあるけれど、出会う場がない……どう活動してよいかわからない……という方、まずはご相談ください。相談、登録は無料です。ご来所お待ちしております。

♡相談日

毎月第2日曜日/第4日曜日 午後1時から4時(8月、12月は変更あり、第4日曜日が祝日の場合は休み)

♡場所

池田町福祉センター相談室

♡登録に必要なもの

・写真2枚(一人で写っている最近のもの) ・印鑑 ・身分証明書 ・独身証明書

【問い合わせ】 池田町社会福祉協議会 ☎45・8123



善意のご寄付
ありがとうございました

◎社会福祉事業へ

米、味付けのり、レトルトカレー、乾麺 他
いび川農業協同組合 様

※ご寄付いただきました食料品は物価高騰の中生活に困窮されている方の支援に使わせていただきます。



しあわせ相談センター

お気軽にお問合せください

場所：福祉センター 相談室

時間：午後1時～4時

お問合せ：池田町福祉センター
☎45・8123

〈9月・10月 相談日程〉

障がい者相談	9月 8日(火)・10月13日(火)
結婚相談	9月13日(日)・10月11日(日) 9月28日(月)・10月26日(月)
生活相談	9月15日(火)・10月20日(火)
法律相談 ※利用料1,000円	10月27日(火)

※生活相談・法律
相談は前日までの
予約制です



池田ふれあいサポートセンター



池田町コミュニティママ子育てサポート事業(コミママ)

5月～8月にかけ全5回、八幡児童館にて集団託児が行われました！
池田町主催の「ペアレント・トレーニング」の参加者のお子さん方を、
コミママのサポーターの皆さんでお預かりいただきました。お母さん
と離れ、始めは少し不安そうだったお子さん方もすぐに慣れ、「せん
せいがオコね!」「いっしょにお医者さんごっこしよう!」とニコニコ笑
顔で元気いっぱい遊ぶ姿が見られました。小さいお子さんはサポーター
さんに抱っこされ、すやすやと眠る姿も。

コミママでは、個別の一時預かりの他、複数のお子さんの集団託児
も行っています。お友だちとのランチ会の時など集団託児を利用して
みませんか？

興味のある方は池田ふれあいサポートセンターまでお問
い合わせください。



申し込み・問い合わせ

池田ふれあいサポートセンター ☎45・3916

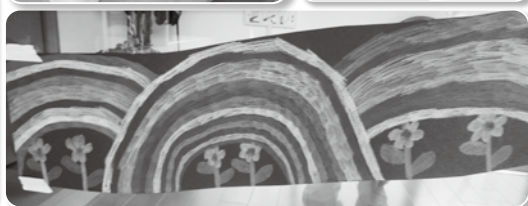


ふれ愛の家では、季節行事として
七夕を楽しみました。
玄関の自動ドアに天の川。廊下の
壁には緑の画用紙で竹を作り、利用
者さんとスタッフで協力して色鮮や
かな飾りと、それぞれの願いごとや
想いが詰まった短冊を賑やかに貼り
付けました。
「お寿司が食べたい」「元気で毎日
ふれ愛の家にいきたい」「アイドル
になりたい」など、個性豊かな願い
ごとが壁いっぱい輝き、施設内を
パッと明るく彩ってくれました。
七夕が過ぎた後、短冊を各自持ち
帰っていただきました。「お寿司が食
べたい」と、願っていた利用者さん
は、さっそく願いが叶い、ご家族と
お寿司を食べに行かれたそうです。
嬉しそうに両手をグツと握り、ス
タッフに「やったー」と、笑顔でポー
ズを見せてくれました。
それぞれの形は違いますが、そんな
ほのぼのとした日常の一コマが、私
たちの活力の源になっております。



池田町障害福祉サービス事業所
fureainoie
ふれ愛の家

壁に輝く願いごと…
施設で楽しむ
手作り七夕



問い合わせ 池田町障害福祉サービス事業所 ふれ愛の家 ☎44・1877

相手の立場を思いやり、
励まし合って仲間と共に生きる子の育成

養基小学校では、福祉教育の目標「相手の立場を思いやり、励まし合って仲間と共に生きる子の育成」をめざして、重点を「人をいたわり、親切にする思いやりのある児童の育成」「明るく住みよい学校、町づくりのために進んでボランティア活動ができる児童の育成」にしています。

福祉活動の様子を紹介します。

JRC委員会の活動

JRC委員会では、アルミ缶回収や全校ボランティアなどの呼びかけをしています。アルミ缶回収では、「どうしても、より多くの協力が得られるのか」をみんなで話し合い、全校に呼びかけました。アルミ缶を持ってきてくれた人数を、毎日の放送で紹介して、協力を促しました。西の児童玄関で集まった数と東の児童玄関で集まった数を放送することで、意識が高まりました。回収したアルミ缶で得た収益金は、池田町と揖斐川町の社会福祉協議会に寄付する予定です。

他にも、委員会の児童らが揖斐川工業様からいただいた花の苗をプランターなどに植えたり、水やりをしたりしています。きれいな花いっぱい養基小学校にしていきたいと思っています。

福祉活動(高齢者疑似体験)

六年生が「総合的な学習の時間」に、福祉について学んでいます。令和八年度も、社会福祉協議会の出前講座『高



立 合 組 福祉活動 養基小学校

～福祉協力校の活動紹介～



齢者疑似体験』を受講する予定です。社会福祉協議会の職員の方を講師に招き、児童は、実際におもりなどを装着して、高齢になると思うように体が動きにくいことを体験する予定です。このほかにも、「西美濃さくら苑」の見学も予定しています。

そうした活動から、自分の祖父母や高齢者の方々の困り感に気づき、相手の立場や気持ちを思いやった行動ができるようになることをめざしています。

全校ボランティアや、地域とつながる活動

運動会前には、朝の涼しい時間に、草取りや石拾いの『全校ボランティア』を行う予定です。また、ボランティアカードを一人一人が持ち、自分のできることを見つけ、ボランティア活動を行っています。カードスタンプがいっぱいになると校長先生に報告をします。校長先生から直接認めてもらえることが、子どもたちの次への意欲につながっています。

また、『地域とつながる活動』として、全校の児童が、一人暮らしのお年寄りへの食事サービス『まごころ弁当』に添える手紙を書いています。

こうした活動を通して、他者の気持ちや思いの理解を深め、思いやりのある子、仲間のよさを認めて励まし合う子に育ってほしいと願っています。

